

（仮称）小牧市こども未来館講座等開催業務委託プロポーザル実施結果

（仮称）小牧市こども未来館講座等開催業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、審査を行った結果、技術的に最適な者（以下、「最優秀者」という。）として、特定非営利活動法人１０人村を選定した。

１．審査結果

最優秀者	商号または名称	特定非営利活動法人１０人村
	代表者氏名	理事長 虫明達夫

２．審査日程

項目	日程
実施要領等発表	令和元年１０月１６日
質疑受付	令和元年１０月１６日～１１月１日
募集説明会	令和元年１０月２５日 午後３時
質疑回答	令和元年１１月８日
参加表明書等の提出期限	令和元年１２月６日
書類審査	令和元年１２月９日
企画提案審査（プレゼンテーション）	令和元年１２月２０日
結果発表（公表・通知）	令和元年１２月２５日

３．審査委員会

区分	職名	氏名
委員長	こども未来部長	鍛冶屋 勉
委員	岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授	玉置 崇
委員	中部大学工学部建築学科 教授	豊田 洋一
委員	小牧市こども・子育て会議委員代表	長江 美津子
委員	愛知県児童総合センター センター長	上野 裕
委員	小牧市児童館運営委員会委員代表	永井 勝彦
委員	教育長	中川 宣芳

４．評価基準

審査	評価項目	評価事項
審査 書類 審査 企画 提案	１ 参加資格	実施要綱に定める失格要件に該当していないか
	２ 事業の遂行能力	適正な職員配置がされているか
	３ 講座等開催に対する考え方	業務内容および小牧市の課題や魅力に対する理解、提案の実現性等

５．審査経過

<書類審査>（令和元年１２月９日）

応募者１者に対し、書類審査を行った結果、参加資格を満たしていたため、企画提

案審査（プレゼンテーション）の出席要請を行った。

<企画提案審査（プレゼンテーション）>（令和元年12月20日）

実施要領に示される評価基準に基づき、提出された事業計画書の内容審査を行い、（仮称）小牧市こども未来館講座等開催業務に技術的に最適な事業者を選定するため、委員が各評価事項に対する評価を行い、最優秀者（受託者）を特定した。

6. 総評および講評

本プロポーザルは、（仮称）小牧市こども未来館講座等開催業務に技術的に最適な者を特定するため公募型プロポーザル方式により実施した。

審査委員会では、業務の要件に十分に配慮されているかということについて、参加資格、事業の遂行能力、講座等開催に対する考え方等の3つの観点から審査を行い、以下のとおり講評することに至った。

○最優秀者

小牧市の課題や魅力に対する理解や地域との連携について、市内3児童館を運営する強みや実績を活かした、一步踏み込んだ独自性までは感じられなかったが、コミュニケーターやMYポートフォリオなど、こどもとの対話を通じ、学びの連続性を生む提案は、運営コンセプト（「また来たくなる未来館～未来リテラシーを育む～」）を体現する提案であったため、最優秀者（受託者）として選定した。